

水戸市議会報

令和3年

9月定例会

No.237

2021年11月1日号

ワクチン接種に係る追加経費等 19.3億円の補正予算可決

- 可決した議案…………… 2
- 代表質問…………… 3～5
- 議案質疑, 一般質問…………… 6～9
- 常任・特別委員会報告…………… 10, 11



新型コロナウイルスワクチンの大規模接種会場(市総合運動公園体育館)。今定例会において、大規模接種会場の運営経費等を追加する補正予算を可決しました。11月末までには希望者全員の接種が完了する見通しです。



定例会あらまし



会期

9月6日から28日までの23日間

議員質問

- ・代表質問6名(3~5ページ参照)
- ・議案質疑1名(6ページ参照)
- ・一般質問15名(6~9ページ参照)

委員会付託議案

- (1)各常任委員会、決算特別委員会及び公営企業会計決算特別委員会における市長提出議案の審査
- (2)各常任委員長、決算特別委員長及び公営企業会計決算特別委員長による委員会審査の経過並びに結果の報告

(10、11ページ参照)

- (3)討論 反対2名、賛成1名
- (4)採決の結果、いずれも原案のとおり可決、承認、認定

人事案件

- ・市長追加提出の人事案件4件をいずれも同意(下段参照)

意見書

- ・議員提出の意見書4件を可決(12ページ参照)

請願・陳情

- (1)建設企業委員長、文教福祉委員長、偕楽園・千波湖周辺整備等調査特別委員長及び水泳競技施設等調査特別委員長による請願・陳情審査結果の報告
- (2)令和3年請願第2号をみなし採択、令和元年陳情第5号、令和2年陳情第4号及び令和3年陳情第2号を趣旨採択、令和3年陳情第5号を採択(9、12ページ参照)
- (3)陳情の閉会中継続審査を決定

閉会中所管事務調査

- ・各常任委員会等の閉会中所管事務調査を決定



本会議の様子

可決した議案



今定例会で可決した議案から主なものを紹介します。

市長提出議案	計	19件
令和3年度補正予算	1件	
条例の改正	5件	
その他	13件	

子ども発達支援センター条例の一部改正

未就学児の療育指導体制の充実に向けて、子ども発達支援センター分室の新設等を行うもの

市立小学校、中学校、義務教育学校及び幼稚園設置条例及び市立幼稚園型認定こども園条例の一部改正

市立幼稚園のうち、浜田幼稚園及び常磐幼稚園を保育を必要とする子どもを受け入れる幼稚園型認定こども園に移行するとともに、4園を廃止するもの

都市公園条例の一部改正

東町運動公園体育館に増設する大型映像装置の利用料金に係る規定の追加を行うもの

公設地方卸売市場条例の一部改正

新たに整備した青果荷捌所の使用料に係る規定の追加を行うもの

工事請負契約の締結

渡里小学校長寿命化改良工事及び同電気設備工事の請負契約をそれぞれ締結するもの

土地の取得

市道酒門358号線及び都市計画道路3・3・2号中大野中河内線用地を取得するもの

令和3年度一般会計補正予算(5号)

◆補正総額 19億3158万円増
主な事業等

- ・ワクチン接種の体制確保に係る追加経費
- ・事業継続特別対策支援金第2次
- ・不妊治療の補助対象の拡充
- ・国が整備する泉町1丁目国道50号上空通路に対する負担金
- ・通学路の安全確保対策
- ・介護サービス事業所の改修等に対する補助

人事

- 水戸市教育委員会委員
篠崎和則(再任)
- 水戸市公平委員会委員
鈴木重之(再任)
- 人権擁護委員候補者
荒川誠司(再推薦)
高信幸男(再推薦)

魁、水戸



学校施設の安全性を確保する 点検体制と補修の実績は

Q 子どもたちの教育環境の向上を図るうえで長寿命化改良事業やタブレット端末整備等は重要な施策と認識している。また、豊かな心を育むためには、充実した勉強や遊び、スポーツを楽しめる環境の維持管理も同様に重要だと考える。そこで、(1)子どもたちが日々使用する用具等の点検体制、(2)補修の実績、(3)市長の見解を伺いたい。

A (1)法令に基づく定期点検は専門業者に委託し、日常的な点検は教職員が行っている。屋外遊具等については、マニュアルを活用し、安全点検を行っている。(2)昨年度は483件の修繕を行い、約4270万円を執行した。(3)21校をみずから訪問し、修繕を要する箇所を多数確認したため、早急な対応を指示した。来年度以降の予算増額と組織体制強化に努める。

七ツ洞公園を拠点とする

国田地区まちづくりの展望は

Q (1)国田地区では、官民協働による多岐多様な人づくり・まちづくり事業が展開されている。特に、七ツ洞公園の魅力や個性を発信する

イベント「クニタデロハス」は、花や自然をめぐるファンが多く集う一大事業となっている。これまでの七ツ洞公園の整備状況と今後の見通しを伺いたい。(2)同公園に隣接するJA教育センター前へのサッカー場の整備計画があると聞いた。市のスポーツ振興や教育・福祉行政に大きく寄与するものと確信している。今後の対応を伺いたい。

A (1)西駐車場整備のほか、複合遊具の設置や園路のバリアフリー化を進めている。今後、既存トイレの洋式化及び西駐車場へのトイレ新設等も計画する。(2)新たな交流が創出されると期待している。公園駐車場の共用化に向け協議を進め、周辺のアクセス道路整備を含めた利用者の利便性向上策も検討する。



県JA中央会が計画するサッカー場整備予定地

その他の質問

- コロナ禍で困窮する零細店舗等への救済措置は
- コロナ後の市民力・地域力再生に対する見解は
- 官民協働で結ぶ防災協定の運用方法と実績は
- 池上団地の避難所確保に向けた隣接市との連携は
- 生活排水処理事業の現状と今後の整備方針は

公明党水戸市議会



地域経済再生に向けた 事業者への支援策、相談体制の強化は

Q コロナ禍で大きな影響を受けた観光や飲食等の業者に対し、国、県、市で各種支援策を実施してきたが、様々な業種で厳しい経営状況が続いている。そこで、これまでに実施した支援策に対する検証を行い、苦境に立つ事業者に対し、対象要件の緩和や支援策の強化等とともに、丁寧な情報提供や経営相談の体制強化等が必要と考えるが、市の見解を伺いたい。

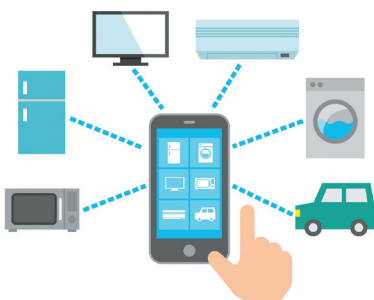
A きめ細かな支援策の展開により、経済活動への影響を最小限にとどめることができたが、様々な業種で厳しい環境が続くことから事業継続特別対策支援金(第2次)の給付に係る補正予算を提案した。給付要件の売上減少割合は第1次と同様50%以上とした。申請手続の簡素化により事業者の負担軽減に努める。議決後は商工団体等とも連携し、十分な周知に努める。

デジタル化によるサービス向上と 情報格差解消への取組は

Q コロナ禍を通じて行政サービス全般で更なるデジタル化が必要だと実感した。デジタル庁が創設され

たことから、新たな取組を検討すべきである。また、ワクチン接種予約の際に、情報弱者になりがちが高齢者等へのデジタル化の推進が必要だと痛感した。そこで、誰もがデジタル化の恩恵を最大限に受けられるよう、デジタル化による市民サービス向上の取組強化と、高齢者等への情報格差解消を図るべきと考えるがどうか。

A 秋から各地区でスマホ体験講座を実施する予定であり、次年度以降も情報格差解消に向けた取組を加速させる。また、まちのデジタル化に向け、先進的なIT事業者と連携し研修会をスタートすることとした。これらの取組を強力に進めるため、来年度、専門の部署を配置するなど組織体制を強化する。



デジタル化(イメージ)

その他の質問

- 若年層へのワクチン接種促進と妊婦への対応は
- ポストコロナに向けた新たな観光戦略の策定は
- コロナ禍で不安を抱える若者への相談体制強化は
- 激甚化、頻発化する災害への対策強化は
- 通学路安全対策の強化に向けた見解は

水政会

おがわ
小川
かつお
勝夫

タブレット端末の

学校授業への活用状況は

Q 児童生徒1人1台タブレット端末や大型提示装置等の整備が完了したと聞いた。(1)従来の通常授業での活用状況と効果、(2)緊急事態宣言下でのオンライン学習の効果や課題、実施内容等を伺いたい。

A (1)7月の稼働率は全校でほぼ100%である。従来の方法では表現が難しかったアイデアを表現でき、消極的な児童生徒が積極的に発表できるなどの効果があった。(2)授業は午前の3時間程度とし、小6以上は6時間に拡大した。中3は分散登校の際に個別面談を行う。同時双方向型授業は対面に近い学習効果が期待でき、不登校児童生徒が参加する効果等も見られた。緊急的な対応としてやむを得ない改善の策であり、今後も教員への研修・支援体制の充実を図る。端末の家庭への持ち帰りを日常化して家庭学習に活用し、効果的な活用方法の検討と実践を行う。

新清掃工場アクセス道路の

早期整備に向けた進捗状況は

Q 新清掃工場周辺の生活道路は日常的な交通量に加え、ごみ収集車両

が多く通行する。ごみ収集運搬業務の効率化や歩行者、自動車の安全確保等のため、国道6号方面から新清掃工場へのアクセスが直接可能となる市道酒門358号線の早期完成が求められている。今回、本路線の用地取得に係る議案が提出され、確実に整備進捗が図られているものと評価する。現在の整備状況と完成見通しを伺いたい。

A 令和元年度から用地取得に着手し、本議案の土地とあわせて約95%の取得を見込む。現在、道路排水の流末整備工事と県道中石崎水戸線に接続する道路改良工事を行っている。今後も関係者の理解、協力の下、円滑な用地取得と継続的な工事を実施し、早期完成を目指す。安全な道路体系の構築に努める。



新清掃工場周辺エリア

その他の質問

- コロナ禍の現状と保健所の対応策は
- ワクチン接種の進捗と見通しは
- 那珂川緊急治水対策プロジェクトの進捗は
- 通学路の安全点検の状況と整備等対策は
- 国営緊急農地再編整備事業の進捗は

誠和会

まつもと
松本
久勝

小吹清掃工場跡地の利活用に係る

地元との協議状況は

Q 6月定例会で、小吹清掃工場跡地の利活用については地元協議会との相互理解によって策定された方針に基づいて整備を進めてきたが、協議会は今になって異議を示し、追加要望をしたことで協議が進んでいないとの答弁があった。市はこれまで誠意ある対応をしてきたことから方針に基づいて対応すれば十分と考えているが、跡地の利活用方針や協議会からの要望に対する見解等を改めて伺いたい。

A 焼却施設跡地は、交流を創出する健康づくりの拠点整備に向け協議を進めてきたが、異議が示され複合施設の整備や埋設ごみの全面撤去を強く要望された。市の考えを幾度となく文書で示したが、協議会会員に伝わることなく返却されたり受け取りを拒否され、非常に残念である。10月に協議会との協議を予定しており、会員に丁寧に説明し、合意形成に努めたい。

市立保育所や幼稚園の

民間委託についての見解は

Q 市の行財政改革プランでは保育所や幼稚園を民間活力活用の検討を

図る施設としている。市内には民間が運営する保育所や幼稚園等が多数あり、社会福祉法人や学校法人等が民間のノウハウを生かした運営を行い、保護者の様々なニーズに応えている。市立の保育所や幼稚園の運営の方向性を定め、運営を担う法人を募集し、計画的に民間委託を進めることが可能と考えるが、見解を伺いたい。

A 必ずしも市立で運営すべきものではないと認識している。現在の幼稚園教諭や保育士の任用や処遇、将来的な保育ニーズを踏まえた私立幼稚園や民間保育所の適正な運営の堅持等を考慮することが重要である。これらを踏まえ、民間活力活用の可能性を様々な視点から前向きに検討したい。



その他の質問

- 連携中核都市圏の形成に向けた今後の展開は
- コロナ緊急対策の取組状況とその評価は
- コロナ禍での使用料及び手数料改定の見解は
- ネーミングライツの拡充・推進への見解は
- 政令指定都市に向けた合併についての見解は

フォーラム水戸



東海第二発電所の再稼働と捉える時期は

再稼働と捉える時期は

Q 日本原電は東海第二発電所の工事を進めており、来年12月の再稼働を予定している。再稼働前に国の使用前検査を実施するが、これは原子炉を稼働させて行う検査である。試験のための稼働でも、原子炉を動かす以上、事故の起こるリスクは同じであり、試運転からのなし崩し的な再稼働を防ぐためにも検査時期を再稼働と捉える必要があると考える。見解を伺いたい。

A たとえ試験の稼働でも、原子炉を動かすことは新安全協定に位置付けた再稼働であると認識している。日本原電が使用前検査を国に申請する際に、原子力所在地域首长懇談会から申し入れを行い、文書で使用前検査が発電所の再稼働に直結するものではないことを確約させるとともに、懇談会での議論なしに稼働を伴う検査を行わないことを確認した。今後も周辺自治体と連携し、厳しく対応する。

学校司書の配置による

学校図書館の充実を

Q 市は学校図書館支援員を増員して小中学校への巡回支援を行っている。

る。第3次図書館基本計画に基づく令和5年度までの事業であることから、将来的には学校図書館の充実に向け、専任の学校司書を配置していくべきと考える。学校司書配置の教育的効果を詳細に調査、検討し、次期総合計画や第4次図書館基本計画に位置付けていくべきと考える。見解を伺いたい。

A 専任職員の全校配置は業務の質や量、提供サービスに大きな差が生じる可能性があるなどの課題がある。そのため、第3次図書館基本計画に基づき実施している現在の巡回支援を通して課題を精査するとともに、事業成果を検証しながら次期総合計画と第4次基本計画の策定に向け、より効果的な司書の配置や活用方法を検討していく。



学校図書館

その他の質問

- コロナの自宅療養者へのサポート体制は
- 市立全校における感染症対策の取組は
- コロナ禍の経済対策と生活困窮者支援策は
- し尿処理施設整備の取組状況は
- 現代的課題をテーマとする市民講座の開催状況は

日本共産党水戸市議団



新市民会館整備計画の

根本的な見直しの決断を

Q (1)新市民会館と京成百貨店を結ぶ上空通路の建設が突然決まったが、既に5年前に議論され白紙になった経緯がある。そもそも必要のない通路であり、353億円超にまで増えた事業に5億4000万円の工事が加わることに對し、市民理解は得られないと考えるがどうか。(2)現計画のままでは営利的な稼働は見込めないため、民間事業者が指定管理者になった場合、リスクのある自主事業は行われたいと考える。約3億7000万円の指定管理料を支払いながら、市の文化醸成に活用されず、単なる貸館となるのではないか。(3)コロナ後の社会を見据え、現計画の根本的な見直しをすべきではないか。

A (1)市民の安全性、利便性が向上する。(2)多様な市民ニーズに効果的、効率的に対応できる。(3)令和5年7月の開館に向け準備を進める。

東海第二原発の再稼働は認めず

廃炉を求める表明を

Q 原子力規制委員会が日本原電のデータ改ざんを厳しく批判し、敦賀第二原発の安全審査を中断した。審

査資料の不備やデータミス等は東海第二原発の審査の際も起きており、信用できない企業体質と考える。また、実効性のある広域避難計画の策定は現実的に不可能であり、仮に安全に避難できたとしても、二度と戻れない場合もある。それで安心する市民はいないのではないか。原電に對し、きつぱりと廃炉を求めるべきではないか。

A 原子力事業者が持つべき安全に対する意識と誠実さを著しく欠いた行為であり、二度と行わないよう原電に申し伝えた。定期的な現地視察を行うなど厳しくチェックし、安全確保に努める。実効性のある広域避難計画の策定なしに再稼働はあり得ず、多くの市民の声などを考慮して最終的な判断を下す。



東海第二原子力発電所

その他の質問

- コロナ陽性患者の受入体制の拡充を
- エッセンシャルワーカーへの定期的な検査実施を
- 特別な配慮が必要な妊産婦へのコロナ対策は
- 市民負担軽減のため市独自に国保税の引き下げを
- 芸術文化や市民活動の醸成は長い目で見た取組を

▼議案質疑

(仮称)新岡田橋こ線道路橋新設 工事の内容と延伸整備計画は

福島三
島三
辰

▼一般質問



(仮称)新岡田橋こ線道路橋新設工事箇所

その他の質問

- 都市計画道路3・3・30号線について
- ・堀2工区の現状と今後の開通予定は

Q 都市計画道路3・3・2号線の都市計画決定から早67年が経過した。道路の開通や延伸は地域の利便性向上に大きく貢献するものであり、今回の(仮称)新岡田橋こ線道路橋新設工事について、安全な工事の進捗と早期開設を強く望むものである。そこで、事業の内容と国道50号から北に延伸する西原工区の整備計画について伺いたい。

A 令和3年9月から6年間、金額は約31億5千万円、橋脚を上下線に1基ずつ築造し、上部工の桁架設を橋長約100m、幅員約12mで施工する。工事完了後に橋梁区間前後の道路を整備し、令和11年度の供用開始を目指す。また、西原工区は県が事業主体であり、整備時期は未定と聞いている。県等と連携し、水戸・勝田環状道路の全線供用開始の早期実現に努める。

新市民会館周辺のまちづくり構想と リノベーション事業を

秋合一
慎



新市民会館周辺の飲食店街

その他の質問

- 小中学生や希望する市民にPCR検査を
- 広域避難施設の1人当たりの占有面積を4㎡に
- 水戸駅南北広場でエリアマネジメントを

Q 昨今、再開発など右肩上がりの時代の手法による活性化は困難で、新しい雇用、産業、サービスの集積には、エリアマネジメントが有効である。事業力のあるメンバーで検討委員会をつくり、まちづくり構想を策定し、空き店舗等の遊休不動産や、道路・広場等の公共空間を活用したリノベーション事業を推進するべきではないか。

A 市、芸術館、京成百貨店の三者でにぎわい推進協議会を設置し、意見交換している。今後は、周辺エリアのまちづくりの具体的な施策を計画立案から実施・運営に至るまで、商店会・市民団体・民間事業者等の参画の下、検討していく。中心市街地活性化協議会、まちづくり会社等とも連携し、民間主導のリノベーションを促進し、まちの活性化につなげていく。

ワクチン未接種者への 偏見や差別を防ぐ対応は

なめかわ
滑川友理



ワクチン差別防止呼びかけのチラシ

その他の質問

- 歩きスマホによる事故を防ぐための対策は
- 女性消防吏員の活躍推進を図る取組は
- 消防吏員の性的マイノリティに関する学習機会を

Q 新型コロナウイルスワクチン接種は強制ではなく任意となっている。重い疾患を抱えているかたや、ワクチン成分に対し重度の過敏症の既往歴があるかたなど、様々な理由でワクチン接種をしない人がいる。市民のワクチン接種が進む一方で、未接種者があぶり出されるような事態が懸念される。未接種者への偏見、差別、いじめ、誹謗中傷、職場や学校等での不利益な扱いは決して許されるものではない。市の方針や対策を伺いたい。

A 市HP、市公式LINEやツイッター等のSNSのほか、市独自のチラシを作成し、本庁舎や市民センター等へ配備するなど、注意喚起の徹底を図っている。今後も、思いやりを持って共生できる社会の実現に向け、あらゆる機会を活用しながら啓発に努める。

コロナ禍での米価下落に対する 農家への支援策は

なかにわ
中庭あすなろ



米の収穫風景

その他の質問

- 赤塚中、河和田小付近の通学路の安全対策を
- 中小業者応援の事業継続特別対策支援金の充実を
- 市営住宅滞納家賃の過酷な徴収の中止を

Q 米価が下落し、60kg1万円となっている。「これでは機械のローン代、修理代も払えない。農業は続けられないなどの声」が寄せられている。農業は衰退し、食料自給率もさらに減少することになる。市は国に對して、(1)77万トンの外国産米の輸入中止、(2)余剰米を買い上げ、生活困窮者や学生への支援に活用することを求めるべきだがどうか。また、市独自に(3)飼料用稲への補助を増額し、(4)農家の減収を補填する収入保険料への補助を行うことを求めるがどうか。

A (1)貿易協定に基づき国が一元的に輸入しており、飼料用、加工用を中心に活用されている。(2)制度の目的が異なるため予定していないとの説明があった。(3)転作作物の状況を踏まえ検討する。(4)臨時交付金の動向等に留意し検討する。



パラリンピック競技「ボッチャ」体験の様子

その他の質問

- 特定健康診査の受診実績と今年度の取組は
- ICT活用による非対面の特定保健指導を
- 障がい者スポーツへの理解促進や環境整備を

Q 東京オリンピック・パラリンピックは人々に勇気や希望を与えた。今後、大会を契機とした地域の活性化等が期待される。近年、新たなスポーツ競技の増加やスポーツへの参加形態の多様性等が見られ、多様化するスポーツニーズへの対応が今後の活性化のカギになると考える。また、コロナ禍においては、事業内容等を適宜見直しながら、世代や地域特性にあわせた健康増進につながる効果的な取組を推進し、積極的な支援を行うことが必要と考える。見解を伺いたい。

A スポーツへの関心の高まりを絶好の機会と捉え、体験教室の実施や既存イベントの更なる見直しを図る。コロナ後の多様なニーズを反映した魅力あるイベントや各種教室の開催等、今後もスポーツを通じた市民の健康づくりを推進する。

東京五輪・パラリンピックを契機としたスポーツの取組は

たかくら 倉 高 富 士 男



介護助手養成講座「ちいすけ水戸」

その他の質問

- 高齢者への介護予防の現状と取組は
- ヤングケアラーの現状と支援策は

Q 現在、国民の4人に1人が高齢者であり、「超高齢社会」が現実化している。今後も医療・介護の更なるニーズが予測され、介護人材の離職防止策や処遇改善に向けた取組、介護の担い手を広げる取組等が必要と考える。そこで、介護人材の確保の取組を伺いたい。

A 処遇改善策として事業者への報酬上乗せを図る介護職員処遇改善加算等を実施し、離職防止策として職員の資質向上セミナーを開催している。また、「広報みと」に介護現場で働く方々の特集記事を掲載し、介護の魅力や介護助手養成講座を通じて仕事の情報を発信して人材確保につなげている。今後も介護職員の処遇改善や資質向上の取組を推進し、介護現場と意見交換をしながら更なる情報発信の強化と介護人材の確保に努める。

介護人材の確保、処遇改善に向けた取組は

たかくら 佐藤 昭 雄



子宮頸がんとワクチンに関するリーフレット

その他の質問

- 水戸駅前広場へのネーミングライツ導入の見解は
- 三の丸1丁目交差点の歩行者安全対策は
- 水戸駅南口の桜川沿川に照明灯の設置を

Q (1)子宮頸がんの原因であるHPVの感染を防ぐHPVワクチンは、平成25年から積極的勧奨が差し控えられているが、令和2年10月に厚労省通知によって対象者及び保護者に情報提供が実施された。この通知に伴う市の対応を伺いたい。(2)定期接種期間内に対象者に周知することは市の責務であると考えられる。そこで、情報がないまま定期接種対象年齢を過ぎた市民に対し、接種費用の一部を助成することが重要と考えるが、見解を伺いたい。

A (1)今年6月に対象者全員に対し、個別通知に加え、ワクチンの有効性が記載されているリーフレットを送付した。(2)国の動向を注視するとともに、市医師会と連携を図り、まずは、定期接種を希望する市民が円滑に接種できるよう丁寧な情報発信に努める。

子宮頸がんワクチン接種に係る市の取組は

い が ら し 五十 嵐 博



安全対策が必要な通学路

その他の質問

- 家族介護用品給付事業について
- ・介護者の負担軽減のため給付品目の拡充を

Q 6月に千葉県で飲酒運転のトラックによる事故が起き、下校中の5人の児童が死傷した。こうした痛ましい事故を受け、国は通学路における合同点検の実施依頼を各自治体に通知した。本市でも車が児童のランドセルに接触するなどの事例があり、保護者や地域住民は不安に感じている。通学路の安全確保対策が急務であり、これまでの対応と今後の展望を伺いたい。

A 今年の合同点検や推進会議の時期を7月に前倒しして実施し、把握した危険箇所の対策を関係機関へ依頼した。児童生徒の安全確保に向け、通学路であることを運転手に喚起するカラー舗装等を整備するための補正予算を今定例会に提案した。今後、10月末までに対策案をまとめ、関係機関等と連携して必要な対策を速やかに進める。

児童の命を守るため通学路の安全確保対策を

こ た う 後藤 通 子

いきいき交流センターの
新たな活用方針の整備を

黒木 勇

Q いきいき交流センターは高齢者が趣味や体操を楽しむ通いの場であるが、コロナ禍で利用が制限されている。厚労省は介護予防の観点から「通いの場」の拡充に力を入れており、市内に7か所あるいきいき交流センターは介護予防拠点としての利活用が求められている。

A 新しい利用ルールや施設の活用方法、安心して利用できる施設設備の充実など、様々な観点から検討を進める。いきいき交流センターへ通うことで、人と人とのつながりが生まれ、高齢者の心と体の健康維持が図れるよう努める。



いきいき交流センター柳堤荘

その他の質問

- 民生委員活動へのバックアップ体制強化を
- 浜見台霊園の合葬式墓地と納骨堂の早期整備は
- 全国学力・学習状況調査結果の検証と改善を

犯罪被害に遭われた方々に
寄り添う支援策の推進を

鈴木 宣

Q 悲惨な事件が起き、暴力被害の深刻化が問題となる中、犯罪被害に遭われた方々への支援が必要と考

A 警察や県、いばらき被害者支援センター等と連携体制を構築している。市で相談に対応するほか、専門的な相談は被害者支援センターに協力を依頼し、法廷等への付き添い支援も行っている。先進事例を含めて調査研究を進め、犯罪被害者の支援や相談の充実に努める。

犯罪被害者支援 安心して暮らせるまちへ

総合支援条例 明石市犯罪被害者等の支援に関する条例

- ・総合的支援(相談/生活/経済的)
- ・立替支援金制度の創設
- ・二次被害防止を明記
- ・再提訴支援
- ・真相究明支援
- ・特例給付金制度の創設

あかし被害者基金条例

明日被害に遭うかもしれない「すべての市民」のためのセーフティネット施策

明石市では加害者に代わって立て替えて賠償金を被害者に払い

明石市の施策 (YouTubeより)

その他の質問

- 女性が気軽に相談できる身近な窓口の充実を
- 3歳児健康診査視力検査時の専用機器の購入を

通学路交通安全プログラムの
推進体制の強化を

編引 健

Q 千葉県八街市で起きた痛ましい事故を受け、各自治体で通学路の安

A 議員提案は、地域住民が把握している児童生徒の登下校時の様子や危険箇所を共有するうえで、大変有効と考える。今後、推進会議の構成員を見直すなど、プログラム推進体制の強化を図りながら、通学路の更なる安全確保に努める。



通学路の合同点検

その他の質問

- 安全点検の未実施箇所と合同点検で判明した危険箇所は
- 国県からの予算措置の見込みと市独自の予算要望は
- ゾーン30の整備予定と整備拡充の加速化に対する見解は

不登校児童生徒への
早期の支援拡充を

中田 真己

Q 昨年度の市内の不登校児童生徒数は小学生174人、中学生319

A (1)教育相談室で来所や電話相談を行っている。相談件数が年々増加しており、相談員体制の在り方を研究する。(2)対象学年の拡充や教室の複数化は、場所や人員体制等の課題があり、今後研究していく。



教育相談を行う「うめの香ひろば」

その他の質問

- 小中学生のコロナ感染予防策と検査拡充を求める
- オンライン学習の現状と課題、今後の支援策は
- 原発事故の避難は不可能であり即時廃炉を求める

※1 水住協…水戸市住みよいまちづくり推進協議会



移動投票車(常陸太田市)

その他の質問

- 深刻な状況の酒造・酒類販売事業者への緊急支援を
- 官民共創によるDX推進体制構築への見解は
- 若年層への感染予防対策と「みとちゃん」の活用は

Q (1)平成27年に選挙権年齢が18歳以上に引き下げられた。本市の主権者教育の現状を伺いたい。(2)ここ数年、選挙の投票率が下落し続けているが、有権者からの貴重な負託を一票でも多く得ることは重要であるため、投票率向上策を伺いたい。(3)①知事選で移動投票車を導入した自治体があった。移動が困難なかたへの投票機会の確保策等として本市でも導入してはどうか。また、②北部エリアへの常設の期日前投票所を設置すべきと考えるが、見解を伺いたい。

A (1)市内の大学構内に期日前投票所を設置するほか、高校生等を対象に出前講座や模擬投票を実施してきた。(2)啓発活動を継続していく。(3)①他自治体の事例を参考に検討する。②今後、設置場所や人員配置等の課題を整理していく。

移動期日前投票車の導入と
北部地区への期日前投票所の設置は

こいずみ 小泉 康



「みとちゃん米パン」等の給食メニュー

その他の質問

- 農業を支える多様な人材の確保を(半農半X^{※2}や農福連携)
- 有機農業を推進する取組の現状と将来の展望は
- 畜産農家との連携による良質堆肥の生産・供給状況は

Q 国はカーボンニュートラル^{※2}等の環境負荷軽減と生産性向上の両立を目指す「みどりの食料システム戦略」を策定した。この中で有機農業の拡大等が目標に掲げられている。本市でも環境に配慮した持続可能な食料供給システムが必要と考える。(1)市民センター等を核とした市民農園の拡充について、(2)学校給食における有機農産物の利用促進について、見解を伺いたい。

A (1)コロナ禍で都市部の若者が地方へ移住する流れが強まっており、手軽に農業を体験できる市民農園の需要は拡大すると考える。農業委員会等と連携して制度周知を図り、市民農園の開設を推進する。(2)学校給食での地場農産物活用を推進しており、今後、有機農産物の利用についても供給量や価格等の課題を整理し、導入を検討する。

「みどりの食料システム戦略」を
踏まえた取組は

あんず 安藤 栄



新しい命

その他の質問

- ゼロカーボンシティの実現に向けた取組と課題は
- 弘道館・水戸城跡周辺地区の付加価値を高める取組は
- 新市民会館完成を見据えた都市計画道路整備への見解は

Q (1)人口減少時代を迎え自然増が見込めない中、子どもを生み育てやすい環境づくりに向けた新たな取組が必要と考える。見解を伺いたい。(2)県立こども病院移設のうわさを聞いたが、出産する方々には高度な医療を提供できる基幹病院が必要と考える。周産期医療の体制維持に向けた見解を伺いたい。

A (1)第2期子ども・子育て支援事業計画を策定し、支援策を幅広く位置付けた。また、子ども政策の一体的な推進に向け行政組織の再編を検討している。今後も魅力ある支援策を掲げ、若い世代が住みやすいまちづくりに努める。(2)こども病院を本市に確保することが県・東北地域の周産期医療を支えることにつながると考える。今後とも県や関係機関と協議し、安定的な医療提供体制の維持に努める。

子育て支援の新たな取組と
周産期医療の体制維持は

はなまつか 袴塚 孝雄

陳情の結果



【採 択】 ○令和3年陳情第5号 私道寄附申請に係る事務処理の促進に関する陳情

願意に沿うよう努力されたいとの意見を付して市長に送付し、その処理の経過及び結果の報告を請求すべきものと審査決定した。

【趣旨採択】 ○令和元年陳情第5号 新水戸市民プールの建設を求める陳情

○令和2年陳情第4号 月池の自然景観と樹木保護に関する陳情

○令和3年陳情第2号 千波町東久保の風致地区の一部(低地部)を市所有地とすること等を求める陳情

これらの陳情については、趣旨を了とし採択した。

※2 カーボンニュートラル…二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量から、森林などによる吸収量を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること。

文教福祉委員会



市立小学校、中学校、義務教育学校及び幼稚園設置 条例及び市立幼稚園型認定こども園条例の一部改正

主な質疑 幼稚園再編計画、各施設の在園児数、認定こども園移行後の利用見込み及び職員配置体制など。

主な意見 (1)新たに開設する認定こども園について、利用を検討する方々に向けて十分な周知に努められたい。(2)認定こども園化への移行基準や民間事業者も含めた幼稚園・保育所の配置、民営化に対する考え方など、本市の幼児教育、保育の在り方について整理されたい。

賛成多数

令和3年度一般会計補正予算 (文教福祉委員会所管分)

主な質疑 不妊治療補助事業の概要、新型コロナウイルスワクチン接種の今後の計画、令和2年度に実施した妊婦に対するPCR検査補助の実績など。

主な意見 新型コロナウイルスワクチン接種事業について、学校関係者の接種率向上に努めるなど、市民の安心安全の確保に向けて鋭意推進されたい。

全会一致 賛成

産業消防委員会



令和3年度一般会計補正予算 (産業消防委員会所管分)

主な質疑 事業継続特別対策支援金(第1次)の利用実績や申請者の業種の内訳、第2次の支給条件及び利用見込み件数の設定根拠、制度の周知方法など。

主な意見 (1)関係機関と連携して制度の周知徹底に努め、支援を必要とする事業者の利用促進を図られたい。(2)ポストコロナ時代に対応するため、新たな取組等に挑戦する事業者への丁寧な相談対応に努められたい。

全会一致 賛成

総務環境委員会



都市公園条例の一部改正

主な質疑 東町運動公園体育館に増設する大型映像装置の維持管理及び運用に関する事項、想定される利用形態や効果、体育施設等の都市公園の維持管理など。

主な意見 大型映像装置の効率的な運用に向けた施設の利用計画を検討するとともに、安全対策についても十分に留意し、多くの市民が気軽にスポーツに親しみ、楽しむことができる施設運営に努められたい。

全会一致 賛成

建設企業委員会



常磐線赤塚・水戸間こ線道路橋新設工事委託協定の締結

主な質疑 協定金額の積算根拠、施工期間中の地域住民への影響など。

主な意見 (1)協定金額の算定に当たっては、各種積算基準や工事実績等に基づき、JRと協議されたい。(2)工事に伴い、地域住民の日常生活に支障を来さめよう、騒音等への対策を講じるとともに、迂回路の丁寧な周知に努められたい。

全会一致 賛成

令和3年度一般会計補正予算 (建設企業委員会所管分)

主な質疑 国が整備する泉町1丁目国道50号上空通路に対する本市の費用負担、上空通路の屋根や階段の整備に係る考え方、通学路の安全確保対策に係る整備内容及びスケジュール、整備対象路線の選定基準など。

主な意見 (1)新市民会館の来館者に対するおもてなしの観点から、上空通路の屋根や誰もが利用しやすい階段等の整備について検討されたい。(2)通学路の安全確保に向け、早急な整備を図られたい。

賛成多数

公営企業会計決算特別委員会



令和2年度水道事業会計及び下水道事業会計
決算の認定

主な意見

- 水道事業会計について (1)鉛製給水管の更新について、所有者に対する積極的な情報提供に努めながら、早期解消に向けて効率的に事業を推進されたい。(2)有収率の向上に向け、効果的かつ計画的な漏水調査を実施し、漏水箇所の早期発見に努められたい。(3)未利用財産について、社会経済情勢や不動産需要にも十分留意しながら、引き続き、市有財産としての有効活用や売却処分を進めるなど、維持管理費の抑制に努められたい。(4)水道事業を取り巻く厳しい環境や生活様式の変化に柔軟に対応しながら、水道事業基本計画(第3次)に基づく事業を着実に推進し、安全で良質な水道サービスの提供に努められたい。
- 下水道事業会計について (1)下水道認可区域の早期の整備完了に向け、計画的かつ効率的に下水道整備を推進し、下水道普及率の更なる向上に努められたい。(2)水洗化率の向上に向けて、引き続き、感染症対策に留意しながら、下水道未接続世帯に対する積極的な接続促進に取り組まれたい。(3)下水道施設の管理に当たっては、ストックマネジメント計画に基づき、優先度を考慮しながら老朽管の更新を実施するなど、施設に係るリスクの低減や事業費の抑制に努められたい。(4)下水道事業の持続可能な運営を確保するため、企業債残高や一般会計繰入金の縮減を図り、将来負担を考慮しながら、経営の健全化に努められたい。

賛成多数

委員構成

委員長	鈴木 宣子	副委員長	佐藤 昭雄
委員	滑川 友理	委員	土田記代美
//	田中 真己	//	木本信太郎
//	田口 文明	//	飯田 正美
//	内藤 丈男	//	栗原 文隆
//	五十嵐 博	//	安藏 栄
//	田口 米蔵		

※各特別委員会の委員には、議長(須田浩和)及び監査委員(高倉富士男, 渡辺政明)を選任しない。

決算特別委員会



令和2年度一般会計及び特別会計決算の認定

主な意見

- 歳入について (1)市税の未収金については、きめ細かな納付相談を行うとともに、財産調査等を確実に実施するなど、不納欠損額の縮減に努められたい。(2)住宅使用料については、納付意思の欠如による過年度分の収入未済額が多く生じており、公平性の観点から、収納対策の改善に取り組まれたい。
- 歳出について (1)1,000円タクシー運事業については、高齢者の更なる利便性向上に向け、対象地区の拡大や利用者負担額の見直し等を検討されたい。(2)敬老会補助については、庁内関係部署の更なる連携を図り、各地区における対象者の正確な把握に努められたい。(3)地場農産物については、本市の農業振興に向け、販路拡大や観光客を意識した商品開発の支援とともに、学校給食における活用の推進に努め、生産者の所得向上を図られたい。(4)中心市街地店舗、事務所等開設促進事業については、利用実績が伸び悩んでいる状況を踏まえ、事業者がより利用しやすい制度となるよう検討されたい。(5)小中学校長寿命化改良事業については、児童、生徒の負担や安全性を考慮し、工期の短縮に努められたい。また、設計時には適宜、関係者等から意見を聴取するなど、より充実した学習環境の整備を図られたい。(6)多額の不用額が生じている事業については、予算編成段階において十分な精査を行うなど、効果的な財源の配分に努められたい。

賛成多数

委員構成

委員長	小泉 康二	副委員長	後藤 通子
委員	萩谷 慎一	委員	中庭 次男
//	綿引 健	//	森 正慶
//	黒木 勇	//	大津 亮一
//	袴塚 孝雄	//	小川 勝夫
//	松本 勝久	//	福島 辰三

議会日誌

7/9	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業消防委員会 建設企業委員会 全員協議会 議会報編集委員会	8/26	文教福祉委員会 産業消防委員会 建設企業委員会 水泳競技施設等調査特別委員会 行財政改革調査特別委員会 代表者会議	9/17	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業消防委員会 建設企業委員会
7/12	文教福祉委員会 産業消防委員会	8/30	議会運営委員会	9/21	決算特別委員会 公営企業会計決算特別委員会
7/20	新市民会館整備等 調査特別委員会 偕楽園・千波湖周辺整備等 調査特別委員会	9/6	本会議 決算特別委員会 公営企業会計決算特別委員会	9/22	決算特別委員会 公営企業会計決算特別委員会
8/10	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業消防委員会 建設企業委員会	9/13	本会議	9/24	決算特別委員会 公営企業会計決算特別委員会
8/26	総務環境委員会	9/14	本会議	9/27	議会運営委員会
		9/15	本会議	9/28	議会運営委員会 全員協議会 本会議 議会報編集委員会
		9/16	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業消防委員会 建設企業委員会		

可決した意見書



今定例会では、議員提出議案として、次の意見書を可決しました。

- 1 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書
- 2 出産育児一時金の増額を求める意見書
- 3 中華人民共和国による人権侵害、強権的覇権行為に対し厳重抗議を求める意見書
- 4 教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書

請願の結果



【みなし採択】

○令和3年請願第2号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書提出を求める請願

本請願については、教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書が可決されたことに伴い、採択とみなす取り扱いとした。

12月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
11/28	29	30	12/1	2	3	4
5	6 本会議 (提案理由説明) 議案説明会	7	8	9	10	11
12	13 本会議 (代表質問)	14 本会議 (代表質問) (議案質疑) (一般質問)	15 本会議 (一般質問)	16 常任委員会	17 常任委員会	18
19	20 議会運営委員会	21 議会運営委員会 全員協議会 本会議 (議了)	22	23	24	25

※ 12月7～12、18～20日は議案調査

編集委員会

委員長 後藤 通子
副委員長 森 正慶

委員

滑川 友理 須田 浩和 土田記代美
佐藤 昭雄 高倉富士男 大津 亮一
渡辺 政明 栗原 文隆 小川 勝夫
田口 米蔵

編集後記



水戸市マスコットキャラクター
「みとちゃん」

新型コロナウイルス変異株が猛威を振るい、本県にも国の緊急事態宣言が発出される中、令和3年第3回定例会を開催しました。今定例会では、ワクチン接種の進捗状況や疲弊する事業者への支援策のほか、地域コミュニティ活動の現状、通学路の安全確保対策など、活発な議論を行いました。また、昨年度決算についても慎重に審査を行いました。

安心して豊かに暮らせる日常を一日も早く取り戻せるよう、引き続き全力を尽くしてまいります。

[須田 浩和、後藤 通子、渡辺 政明 記]

